

環境教育掲示用教材 指導資料

環境教育掲示用教材は、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、私たちを取り巻く環境に着目し、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的として作成した教材です。

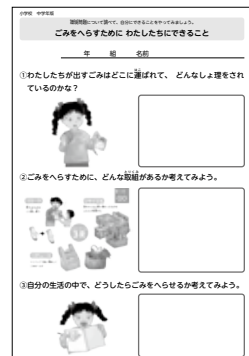
本指導資料では、環境教育掲示用教材の授業等での活用例を紹介します。

環境教育掲示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることをやってみましょう。

ごみをへらすためにわたしたちにできること

①表題



②ねらい

ごみを減らして資源を大切に、持続可能な社会をつくろうとする態度を育成する。

③環境教育で対象とする主な内容 (ESDの構成概念)

資源の循環 (相互性)、自然や生命の尊重 (多様性・公平性)、生態系の保全 (相互性・責任性)、共生社会の実現 (多様性・連続性)、生活様式の見直し (責任性)
 ※環境教育指導資料 P8、P9 参照

④主なSDGsとの関連

【SDGs12】 つくる責任 つかう責任 (小学校・中学校共通テーマ)、
 【SDGs6】 安全な水とトイレを世界中に、
 【SDGs14】 海の豊かさを守ろう、【SDGs15】 陸の豊かさを守ろう

⑤主な活動

活動内容 (○主な活動)	教師の支援 (◇留意点)	◆掲示用教材等との関連
○掲示用教材①を見て、ごみのゆくえについて話し合う。 ○掲示用教材②を見て、都内のごみの量について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ごみを減らすための取組</div> ○掲示用教材③を基に、東京で発生したごみ戦争を知る。 ○掲示用教材④を見て、ごみを減らすために生活の中で行っている取組について個人やグループで調べ、学級全体で話し合う。 ○掲示用教材⑤を参考に、都内のごみ総排出量とリサイクル率を調べる。 ○掲示用教材⑥を参考に、自分にできることを考える。 ○気付いたことや感想を発表する。	◇都内から出るごみの多さを気付かせる。 ◇都内の1日のごみの排出量について理解させる。 ◇生活が豊かになったことでごみが増えたことを理解させる。 ◇イラストを参考に、資源を大切に使うためのポイントについて理解させ、3Rについて考えさせる。 ◇ごみ総排出量が減少の傾向、リサイクル率も減少の傾向にある理由を考えさせる。 ◇ごみ総排出量をさらに減少させ、リサイクル率を増加させるには、どのようなことを心掛けたらよいか考えさせる。 ◇児童一人一人がごみを減らす生活を心掛ける必要があると気付くように、今までの学習を振り返らせる。 ◇【SDGs6】、【SDGs14】、【SDGs15】にも必要に応じて触れる。	◆掲示用教材① ◆ワークシート① ◆掲示用教材② ◆環境教育指導資料 P30～ ◆掲示用教材③ ◆掲示用教材④ ◆ワークシート② ◆掲示用教材⑤ ◆掲示用教材⑥ ◆ワークシート③

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。
 ※東京都教育委員会ホームページで、環境教育指導資料及び本掲示用教材のイラストや図表等を公開しており、拡大して授業等で活用できます。



かんきょうもんだい
環境問題について調べて、自分にできることをやってみましょう。

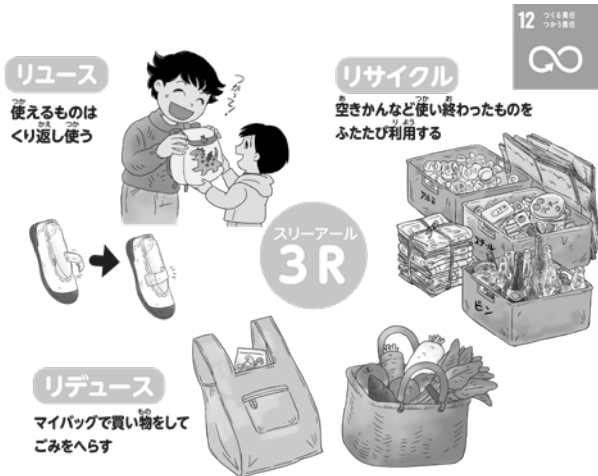
ごみをへらすためにわたしたちにできること

年 組 名前

- ①わたしたちが出すごみはどこに^{はこ}運ばれて、どんなしよ理をされているのかな？



- ②ごみをへらすために、どんな^{とりくみ}取組があるか考えてみよう。



- ③自分の生活の中で、どうしたらごみをへらせるか考えてみよう。

